

みんなの らいふ

前橋市自立支援協議会広報

みんなのらいふ 第16号

発行日 平成30年2月1日

発行元：前橋市自立支援協議会

お問い合わせ先：

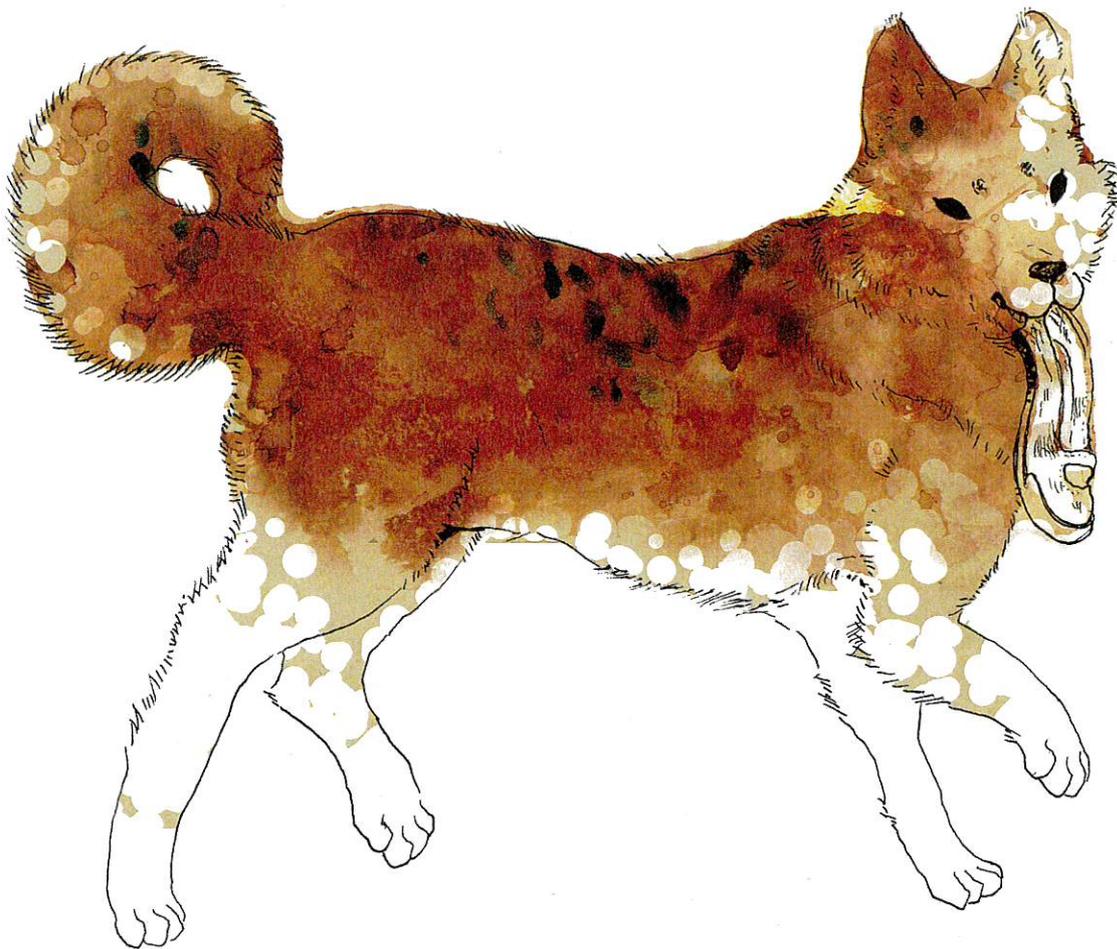
前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発ワーキンググループ 事務局

電話027-220-5711 Fax027-223-8856

ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/42/125/139/p002057.html>

♡ みんなのアーティスト(作品紹介) ♡



【作者】 吉田優子さん

【作品名】 dog

題字・作品募集

本誌に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本誌に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載してあります）へお気軽にお問い合わせください。

次回の作品の応募締切日は2月28日(水)です。



就労支援部会より「企業と福祉の情報交換会」を開催しました

前橋市自立支援協議会就労支援部会では、11月16日（木）に「第5回企業と福祉の情報交換会」を開催しました。今回の情報交換会は、障害者雇用に関する情報交換の機会を設けることで障害者雇用の促進を図ることを目的と

し、市内企業の人事担当者等と市内就労移行支援事業所の支援員等を対象に実施しました。当日は企業と就労移行支援事業所あわせて14事業所にご参加をいただき、大変有意義なものとなりました。

<障害者雇用について>



○障害福祉課より

「前橋市自立支援協議会と障害福祉サービス（就労系）について」

自立支援協議会の概要、就労支援部会の位置付けについて説明。また、就労系の障害福祉サービス（就労移行支援、就労継続支援A型・B型）について説明。

○ハローワーク前橋より

「障害者雇用の仕組みと雇用の現状について」

ハローワークへの相談、各支援機関を利用した採用までの流れ、職場見学・職場実習の流れ、障害者を雇用した際に利用できる給付金等について説明。

○群馬県労働政策課より

「障害者雇用の事例や就労の様子を紹介」（DVD視聴）

障害者雇用の具体的なイメージを持ってもらうため、群馬県が作成した業種別25社のDVDのうちエレクトロ関連製品製造会社と小口貨物輸送サービス会社を例に挙げて、障害者雇用の取り組みや障害者の業務内容等を紹介。

<事例発表>



「就労移行支援事業所の利用を経て、関係機関が関わることにより、一般就労に至った実際の事例」について、障害者を雇用している企業より発表してもらいました。

実習とトライアル雇用制度の利用により障害者の能力や職場適応を確認できたことで、企業側も障害者本人も安心でき、就職に結びつけることができました。

<意見交換会>



3つのグループに分かれて、障害者雇用の体験談、障害者雇用の不安点、事業所での訓練ポイントPR点、企業が求めている人材などについて、意見交換を実施しました。

講評では、「企業と就労移行支援事業所、事務局を含めて、いろいろと意見交換ができて有意義であったと思う。」との言葉をいただきました。



第6回みんなのフェスタを開催しました！



前橋市自立支援協議会・前橋市は、障害福祉の啓発事業の一環として、障害のある人もない人も共に出会い、交流できる場として「第6回みんなのフェスタ」を平成29年12月9日（土）に前橋市総合福祉会館2階多目的ホールなどで開催しました。

今回は障害者週間に合わせ、本番の開催を前にプレイベントとして前橋市役所1階市民ロビーで作品の一部を展示し「第6回みんなのフェスタ」の周知を図りました。

「第6回みんなのフェスタ」では、前橋市内で活動している7団体による和太鼓、合唱や八木節などのステージ発表、前橋市内の障害福祉関係施設の利用者などによる50点あまりの絵画、貼り絵や立体作品を集めたアート展を行いました。

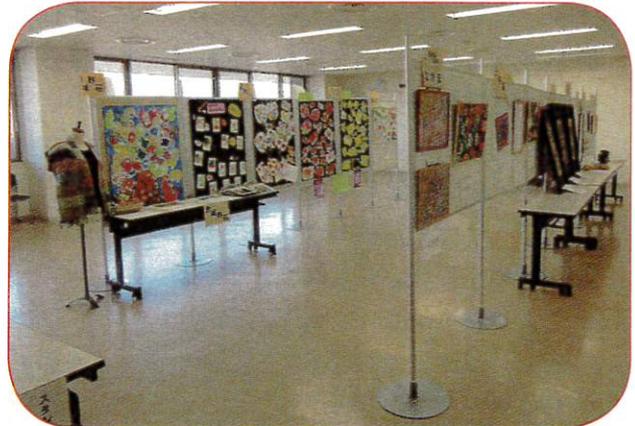
さらに今回初めての試みとして、手話・点字体験コーナーを設け、手話サークル紹介、個別手話指導、点訳サークル紹介や点字体験を行いました。

各会場とも多くの方の来場があり、障害のある人もない人も活発な交流が図れたのではないかと感じました。

今後も、このようなイベントを継続し、すべての市民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生できる社会の実現をめざします。



ステージ発表



アート展



手話体験コーナー



点字体験コーナー



たくさんのご来場、
ありがとうございました。



手話施策検討部会より 「コミュニケーション支援ボード」ができました！

前橋市では、聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするため、手話通訳者を派遣する制度を実施しております。しかし、災害時は各避難所に必ず手話通訳者を配置できるわけではありません。

この度、避難所生活を送る聴覚障害者、音声言語機能障害者や精神障害・知的障害・発達障害のある人の情報取得と意思疎通を支援するため「コミュニケーション支援ボード」を作成しました。(市HPから印刷できます。)

大きくわかりやすいイラストや記号を掲載し、指定避難所の受付で作成する「避難者カード」の聞き取り、体調・けが、困っていることや欲しいものを伝えたいときに使用できる内容となっています。また、避難所に外国の方がいらっしゃることも想定して英語も併記してあります。

今後、前橋市内の指定避難所(小中学校の体育館等)に順次配置していきます。



気になる！
事業所紹介

障がい福祉サービス事業所「太陽」を紹介します！

障がい福祉サービス事業所「太陽」は、平成29年4月に開設し、利用者様の身体機能や生活能力・作業能力が「維持」・「向上」するよう支援し、利用者様・保護者様が将来において心配がなくなるよう、また安心できるような支援を目指しています。



就労継続支援B型20名、就労移行支援6名の利用定員で、現在、就労継続支援B型12名、就労移行支援1名の利用者様が作業を行っています。

作業内容としては、ミニトマトの栽培・販売、お弁当作り・配達や外部作業、また就労移行支援のみSST(社会生活技能訓練)や職場定着支援を行っています。

ミニトマト栽培の作業は、主にビニールハウス内で行っており、ミニトマトの収穫作業、パック詰めや袋詰め、その後出荷作業を行っています。その他にも、芽かき・葉かき作業、肥料撒きや苗を植える作業等いろいろな事を行っています。また事業所内での直売も行っています。

お弁当作りでは、盛り付け作業の他に、配達や翌日の仕込み、前日の弁当容器の洗浄、米研ぎや調味料の用意などを行っています。料理が苦手な方や包丁を握ったことがない方でも回数を重ねるごとに上達しています。また、配達先のお客様に「おいしい」「毎日メニューを楽しみにしている」との声をいただく事で利用者様のやる気アップにも繋がっているように思います。

また、月に一度以上のイベント日があり、様々なイベントを行っています。これまで、ピクニック、ボウリング大会、運動会や日帰り旅行などを行いました。利用者様が楽しめるよう、イベント日は作業を忘れて楽しく過ごせるような内容を企画しています。

編集後記

寒空の中、木々の枝先に春の訪れを探してみる季節になりました。

広報啓発WGを中心に準備をしてきました「みんなのフェスタ」も今年度で第6回目となりました。

「共生社会をめざして」をテーマに開催し、ステージ発表やアート展、スタンプラリーなど楽しいイベントが盛りだくさんの内容でした。

手話と点字の体験コーナーでは、手話サークルの方に「どうぞ」と手招きされた女の子が恥ずかしそうに手話を教えてもらっていました。

帰るときには覚えたばかりの手話であいさつをしていましたが、もしかしたら、これがきっかけで、10年後には普通に手話で会話をしているかもしれないと思うと今回、貴重な体験ができたのではないかと感じました。

出会い、ふれあい、そしてつながっていく…。
ころろが温まり、笑顔があふれる一日になりました。

ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。
(須藤 真由美)

